

授業改善書

科目名	造形演習
担当者	柳澤いづみ

授業の概要

絵画造形表現を実践的に学ぶ。材料技法体験を重ねながら自己の造形感覚を触発しつつ、保育者としての適切な指導のあり方を考える。

授業の問題点

図工演習の授業なので基本的に自由な雰囲気で行っているが、説明やテーマの明確性などが思うよりも徹底していなかったとすると、やはり私語が多いことが原因かと考えられる。シラバスの内容、進捗についても複合的な課題としたり、多少の変更は必要な事もあるのでその都度説明しているはずだが、徹底して全員に理解してもらうことの難しさを感じている。説明の仕方や方法などを見返し、改良できるところはしていきたい。

学生の授業満足度

アンケートの結果を見て、概ね授業の趣旨はわかってもらえたのではないと思う。課題は面白いはずなので、自分の体験や感受性を実感として受けとめてもらえれば、授業としてある程度の成功であると思う。

授業改善の課題と方策

改良点としては、説明や告知方法の明確性を高めるように具体的に考えてみたい。演習も何をしているのか、どこに向かっているのかが明確になると意欲や目的が一層はっきりすると思う。

その他

ほぼ全員出席で時間をとってアンケート記入したはずなのに、半数の回答状況というのは理解に苦しむ。システムの問題か、はたまたスマホで他のことをやってらしたのでしょうか？